



プロフィール

障害児基礎教育研究会は、杉並区立済美養護学校の校長を退職した故水口凌（みずぐち ふうし：1929-2007 享年 77 歳）が、障害児教育のあり方を明らかにすることを目的に設立したものです。

・特別支援教育に携わる教員を中心に、言語聴覚士、作業療法士、臨床発達心理士などの周辺職種や保護者等、障害のある子どもにかかわる多彩な分野の人々が参加しています。

・「見る、見たものに手を伸ばす」など、初期の運動操作から概念形成・記号操作に至るまでの過程を独自の教材教具を用いた教育実践を通して明らかにしようとしています。

・子どもと支援者である大人が、ともに学び合う存在として、人間関係を深めていくことを大切にしています。

教材工夫展

年に 1 回、創作教材を一堂に集めて展示します。開催地は例年東京ですが、令和 8 年度は、信州大学長野キャンパスにて、8 月 23 日（日）に開催します。保育体制はありませんが、お子様連れ、ご家族での参加を歓迎します。午前中は自由に教材教具に触れていただき、午後は、実践発表と講演です。

実践発表・研究紀要投稿

【実践発表】研究協議会（オンライン）での発表を募集しています。動画を通した研究協議により、様々な実践のヒントを得ることが出来ます。発表を希望される方は、対象者もしくは保護者の了解を得て、実践場面の動画と簡単なレジュメをご用意ください。

【研究紀要への投稿】令和 8 年の投稿締切りは、7 月 31 日です。投稿要領は、5 月の総会以降ホームページに掲載します。教材教具の工夫に関する実践をおもちの方は、ぜひご投稿ください。

障害児基礎教育 研究会

令和 8 年度 定例会へのお誘い

障害児基礎教育研究会の目的と方針

【目的】

教材教具を使った教育実践を通して、教育の基礎を解明する。

【方針】

- ① 人間の初期行動の開発を促す教育内容・方法に関する研究
- ② 概念形成、記号操作学習の内容・方法に関する研究
- ③ ①②のための教材教具の開発・工夫・実践

【定例会の内容】 * 以下①②③は、全て土曜日に実施します。

- ① 研究協議会：年 6 回 15:00-17:00 ZOOM 経由 オンライン
教材を使った個別的教育実践を動画で発表し、協議や情報交換を行ないます。
- ② 学習会（個別指導と見学）：年 6 回 13:30-16:30
場所：デイサポートセンター あしたの風 子どもと大人が共に学び合う会です。
(<https://www.ashitano-kaze.com/> 東京都板橋区加賀 1-10-2)
- ③ 教材製作会（教材製作支援と活用相談）：年 4 回 10:00-16:00
場所：文京区の工作室 もくもくはりねずみ (<https://mokuhari.com/>
東京都文京区水道 2-3-21 久保田マンション B1F)
いずれも日程はホームページに掲載、参加申し込みもホームページから行ないます。

参加資格 * 研究協議会、学習会、教材製作会への参加は、非会員の方も歓迎します。

障害のある子どもの支援に関心のある方、学生、保護者、専門家、且つ、本研究会の目的と方針、個人情報の保護・守秘義務をご理解いただける方。

会員登録

会員になりたい方は、「お問い合わせ」フォームに住所氏名をご記入・送信の上、年会費 3000 円を以下の口座にお振込みください。会員登録された方には、研究協議会の ZOOM ID を含む毎月のご案内をメールでお送りします。また、教材工夫展当日に、研究紀要を贈呈いたします。教材工夫展に不参加の会員には後日発送いたします。

三井住友銀行高幡不動支店（店番号 261）
普通口座 1327611 障害児基礎教育研究会

* 本研究会は任意の研究団体であり、運営は会費と教材工夫展への参加費のみで賄っております。幹事の多くは公立学校の教員を務めながら、無償で業務に当たっています。目的にご賛同いただける方の応援や協力を常に歓迎いたします。

* 教材工夫展、実践発表、研究紀要への投稿を含め本研究会活動の詳細については、5 月 16 日の総会以降、ホームページをご覧ください。ご質問も、ホームページ「[会員登録/書籍注文/お問い合わせ](#)」ボタンを通じて幹事にお尋ね下さい。

障害児基礎教育研究会ホームページ <https://kisoedu.jp>

代表：吉瀬 正則